

山口県立下関西高等学校

### 化学2班

山口県下関市後田町四丁目10番1号



## Action

冬に多くの人を使うカイロ。学校で毎日大量に出るチョークの粉。私たちはこの二つに注目し、新しいカイロを作ることによってSDGsの「作る責任・使う責任」、「陸の豊かさを守ろう」に貢献できると考えました。そこで、カイロに使われている活性炭をチョークの粉に変えて、カイロを作る実験を行いました。実験の結果、チョークは活性炭の代わりになることを立証しました。これからは、チョークを使って長時間一定の温度を保つカイロを作ることができるよう、改良を重ね、実用化を目指します。いつかあなたの手の手の中にあるカイロには、チョークが使われているかもしれないですね。

